

水道更生 水路 下管

品確協が管理技術士認定

16年度から 工法協会資格を統一 運用開始

日本管路更生工法品質確保協会(品確協、前田正博会長)は「下水道管路更生管理技術士」資格認定制度を創設し、16年度から運用を開始する。

下水道管路更生管理技術士は、下水道管路更生管理技術者として、下水道管路更生に関する各種工法協会15団体から選出される。16年度から運用を開始する。

の客観公正を図るため、学識経験者等で構成する資格試験委員会(委員長・楠田哲也九州大学東アジア環境研究機構特別顧問)が監査する。

賞 防草技術を高評価

石川重規氏に本賞

日本発明振興協会と日刊工業新聞社が主催する第41回発明大賞表彰式が15日、東京都港区の明治記念館で開催され、石川重規氏が「植物の特性を利用した防草技術」で発明大賞本賞に輝いた。

研究成果を報告

バルテックスへ 技術資料に活用

セニフ田が東京都下水道サーベランス、日水コン、日本工営、日本下水道新技術機構などと共同で取り組んだ「バルテックス」に関する共同研究の成果がまとまり、同機構が7日に開いた下水道機構技術委員会(委員長・松井三郎京大名誉教授)で他の7件の研究成果とともに審議、了承された。

このほかの研究テーマは次の通り。▽チェーンフライト式汚泥かき寄せ機技術(技術資料)▽省エネ型反応タンク攪拌機(技術資料) 6月に研究成果の説明会を開く予定。

A&AM 輸出拡充へ海外グループ新設

エアアンドエマテリアル(巻野徹社長)は、4月1日付で支店制を廃止し事業本部制とする組織改革を実施する。支店・工場・生産子会社を事業部門直接管理とし損益責任を明確化する一方、輸出事業を強化・拡充するため建材事業本部建材営業部に海外グループを新設する。

日本製の強み生かす

建材事業本部「高付加価値化も追求」 枝村副部長にきく

物も高層化されている。従来、台湾の間仕切り材は、ベニヤ板などが主体だった。約30年前に、火災に強い不燃材の二重石膏ボードが台湾国内に高まったが、台湾国内にはメーカーは少なく、開発・製造に時間を要したため当社のけいカル板が白羽の矢が立たれた。このことが輸出を始める契機となり、その

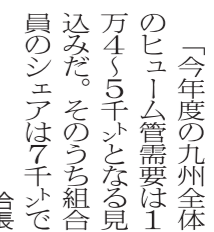
後、建築基準法が改正され、耐火基準も日本に倣う形で整備されていった。約30年前に、火災に強い不燃材の二重石膏ボードが台湾国内に高まったが、台湾国内にはメーカーは少なく、開発・製造に時間を要したため当社のけいカル板が白羽の矢が立たれた。このことが輸出を始める契機となり、その

輸出額は当社売上高の5%ほどだ。建設市場が急成長しているタイ、インドネシア、ベトナム、インドネシアなど東南アジアで当社製品の潜在ニーズが強いとみており、輸出の維持拡大に注力し、個人の期待も込めて数年後には現状の倍近い売り上げを目指したいと思っ

ている。17中計は東京五輪景気が終わる20年以降を見据えたものだ。需要が減少に向かった時にどうするか。その検討を今から進めており、活路の一つとして海外事業の拡充を図ることとした。現在、東南アジアを中心としたマーケティングを強化しており、対象国を広げている。

日常のコミュニケーションはある程度は伝わるが、商談など交渉事になると英語力は不可欠である

二次製品 談話室



厳しい事業環境

手員外社がトップシェアを持つ中、共販事業を構築、4年間は順調に値戻しを進めてきた。その後大手組合員を擁して、その後大手組合員が脱退し、需要減とともに組合活動は縮小し、現在の組合員は6社で、そのうちヒューム管を製造しているの

は3社のみ。「大型物件である雨水幹線事業では、競合他社が異種製品を価格を抑えてぶつけてくるため、思うように受注できていない。当社では、雨水排水用の比較的大型のマンホールにも注力している。基数は減少傾向だが、トン数は横ばいで推移している」

2月は3.7%増加 窯業外装材出荷 日本窯業外装材協会が集計した窯業系サイディングの2月の出荷量は、前年同月に比べ3.7%増の872万5千平方メートルで2カ月ぶりのプラス。生産量は7.7%増の887万7千平方メートルだった。在庫は12.9%増の1560万3千平方メートルで在庫率は15年10月以降2%を割り込んでいる。

プレカット材の供給が増加 チョダウーテ(本社・三重県四日市市)は、工期短縮や工程削減のため、千葉工場に住宅内装用プレカット材の生産設備を増設した。プレカット材の供給が増加している。写真は、金属屋根と壁の隙間を埋める21センチ厚の片面施工の耐火間仕切り壁(STウォーター)だ。4月に耐火認定を取得予定で、本格販売する。

また、同社はドイツのクナウグループと業務および資本提携し、11年8月からクナウグループのセメント板を用いた「AQ UPANEL」内装材システムも販売。これまでに大型浴室やプールなど水回りを中心に400

ため予断を許さない。先行き不透明な要素もあるが、語学力を身につけた社員も戦力に加え、高付加価値製品も含めた海外展開を加速させる計画だ。

また、同社はドイツのクナウグループと業務および資本提携し、11年8月からクナウグループのセメント板を用いた「AQ UPANEL」内装材システムも販売。これまでに大型浴室やプールなど水回りを中心に400

「コストや設備故障の低減などの基盤整備を行ってきた」と語る。 「徳山製造所の競争力の源泉は、港と電力との一つを徹底的に活用すること。徳山・下松港と宇部港とを合わせて国土交通省の国際バルク戦力港湾に指定、周辺整備を進めている。 「石炭代替燃料の利用拡大や全体最適の見える化を進め、改善のスピードアップを図る方針」で、セメント・クリン力輸出も増やす考え。

「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー



企業・二次製品・PC・環境

世界に残る

とが求められている。安達秀樹取締役業務執行役員徳山製造所長は「13年度から『世界に残る』をビジョンに掲げ、保安を優先する中、コスト競争力の強化に向けて、エネルギー